SONY 3-398-792-01(1)

ウォータープルーフケース
Waterproof Case
Boîtier étanche
防水套装

Aqty pack™

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
Gebruiksaanwijzing
Bedienungsanleitung
Bruksanvisning
Istruzioni per l'uso
Manual de instruções
Инструкция по эксплуатации
使用說明書
使用说明书
사용설명서
تعليمات التشغيل

APK-WA

© 2008 Sony Corporation Printed in Japan

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

日本語

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにこのことを必ず守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談をする

変な音やにおいがしたら、煙がでたら
❶ 電源を切る
❷ ソニーの相談窓口に相談をする

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

禁止 行為を禁止する記号

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

衝撃を与えない
ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

主な特長

本機は、ソニーのデジタルスチルカメラDSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110用のウォータープルーフケース(以下ケースとする)です。対象のデジタルスチルカメラはすべての国や地域で取り扱いをしているわけではありません。

お手持ちのデジタルスチルカメラにこの機を取り付けると、雨天時や水辺(水深30 cm以内)での撮影ができます。また、ほこりからデジタルスチルカメラをやることができます。

必ずお読みください

- 必ず事前に、正常に動作するか、水漏れはないかを確認してください。
- ケースのこの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルスチルカメラ、バッテリーなどの）損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償は一切致しかねます。

取り扱い上の注意

- ケースの前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 水辺や水上でのケースの開閉は避けてください。デジタルスチルカメラの取り付けや"メモリースティック デュオ"の交換などは、湿気の少ない室内で行ってください。
- ケースを水中に投げ込まないでください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - 40 ℃を越える温水の中
  - 0 ℃以下の場所

  結露や水漏れは、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35 ℃を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- デジタルスチルカメラを出し入れする際は、落下しないように充分ご注意ください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- ケースに長時間収納して使用していると、デジタルスチルカメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所に置いてから放置してから、デジタルスチルカメラをケースから取り出してください。
- 水深30 cmより深い場所で使用しないでください。

ケースにサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、ケース表面の変色やダメージ（表面のヒビなど）の原因となります。

水漏れについて

万一ケース内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。
デジタルスチルカメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水（水道水）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- ケース内部は乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはケースご使用のたびに必ず行ってください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは

高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのケースの開閉は、フロントガラスのくもりの原因となります。

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 **デジタルスチルカメラのストラップをはずす。**
2 **バッテリー、"メモリースティック デュオ"を入れる。**
充分に充電してあるバッテリーを入れてください。
充分に容量のある"メモリースティック デュオ"を入れてください。
3 **電源を「ON」にする。**
4 **モードダイヤルの設定を希望のモードにあわせる。**
ケースに装着後、外からモードダイヤルの操作はできません。
5 **AFイルミネーターを「OFF」にする。**
AFイルミネーターは使用できません。
6 **フラッシュを（発光禁止）にする。**
フラッシュ撮影はできません。

A デジタルスチルカメラを取り付ける

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。

1 **デジタルスチルカメラの電源を「OFF」にする。**
2 **バックルを開き(③②)、プロテクターを取り付ます③。**
3 **ケースに、付属の乾燥剤を入れる。**
乾燥剤について
ケース内部のくもり防止のため、付属の乾燥剤を撮影の1 ～ 2時間前に入れてください。
未使用の乾燥剤は袋に入れ、入口口を密封して保存してください。
乾燥剤は充分に乾燥させることにより、繰り返し約200回使用することができます。
乾燥方法：
室温約20℃～ 30℃ 、湿度50%以下で5時間保存することで充分乾燥ができます。
4 **お使いのデジタルスチルカメラの三脚ネジ穴にプロテクターの突起部を合わせ、先端部のツメが引っ掛かるまで押し込む。**
突起部の位置は、必ず下記の表で確認をしてください。

突起部	デジタルスチルカメラ
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **ケースのレンズ部の溝に、プロテクターをスライドさせながらカチッというまで押し込む。**
6 **チャックを閉め①、バックルロックを折り返し止める②③。**
チャックを確実に閉めてください。水漏れの原因になります。

B ネックストラップを取り付ける

ネックストラップの先端をバックル突起部に合わせ、矢印方向にカチッというまで引っ張る。

C 撮影する

1 **電源を入れる。**
2 **シャッターボタンを押す。**

ご注意
動画撮影時は音声を正常に記録することはできません。

デジタルスチルカメラを取りはずす

1 **電源を切る。**
2 **ケースを開ける。**
3 **デジタルスチルカメラを取り出す。**
長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落下しないように充分ご注意ください。

ご注意
ケースを開けるときは、ケース上体についた水分を充分に拭き取ってから開け、水滴が内部のデジタルスチルカメラにかからないようにしてください。

主な仕様

材質
プラスチック（PC、ABS）、ガラス
防水構造
チャック、バックル
耐圧
水深30 cmまで
外部より操作可能なスイッチ
POWER（パワー）、シャッター、ズーム（T/W）、再生、MENU（メニュー）、HOME、スライドショー、決定、DISP、マクロ、セルフタイマー
最大外形寸法（最大突起部を除く）
約170×132×65 mm（幅／高さ／奥行き）
質量
約95 g（本体のみ）
同梱物
ウォータープルーフケース（1）、ネックストラップ（1）、プロテクター（1）、乾燥剤（2個入り）（1）、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●製名：APK-WA
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

よくある問い合わせ、解決方法などはホームページをご覧ください。 http://www.sony.co.jp/support
使い方相談窓口
フリーダイヤル……0120-333-020
携帯電話・PHS—長距離—0466-31-2511
FAX（共通）0120-333-389
受付時間 月～金9:00～20:00 土・日・祝日9:00～17:00
左記番号一覧表後、最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

Main Feature

This waterproof case (referred to below as "case") APK-WA is exclusively for use with the Sony Digital Still Camera DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
Cyber-shot for this case is not available in all countries/regions.

The case is waterproof so the digital still camera can be used in the rain or near water. (Usable to a depth of 30 cm (1 foot)) The case also protects the digital still camera from dust.

Notice

- Before using the digital still camera in the case, check that the digital still camera is operating properly and that the case is not leaking.
- In the unlikely event that a malfunction of the case causes damage due to water leakage, Sony does not guarantee against damages to the equipment contained in it (digital still camera, battery pack, etc.) and the recorded contents, nor expenses entailed in the photography.

Precautions

- Do not subject the front glass to strong shock, as it may crack.
- Avoid opening the case near or on the water. Preparation such as installing the digital still camera and changing the "Memory Stick Duo" should be done indoors with low humidity.
- Do not throw the case into the water.
- Avoid using the case under the following situations:
  – in a very hot or humid place.
  – in water hotter than 40 °C (104 °F).
  – at temperatures lower than 0 °C (32 °F).

  In these situations moisture condensation or water leakage may occur and damage the equipment.
- Use the case for no longer than 30 minutes at a time in temperatures above 35 °C (95 °F).
- Be careful not to let the digital still camera fall when removing it from or putting it in the case.
- Do not leave the case under direct sunlight in a very hot and humid place for a long period of time. If you cannot avoid leaving the case under direct sunlight, be sure to cover the case with a towel or other protection.
- The digital still camera heats up if it is used inside the case for a long time. Before removing the digital still camera from the case, leave the case in the shade or other cool place for a while to cool down.
- Do not use the case in depths below 30 cm (1 foot).

If sun oil is on the case, be sure to wash it off thoroughly using lukewarm water. If the case is left with sun oil on its body, the surface of the case may become discolored or damaged (such as cracks on the surface).

Water leakage

If water happens to leak in, stop exposing the case to water immediately. If the digital still camera gets wet, take it to the nearest Sony dealer immediately. Repair costs must be borne by the customer.

Maintenance

- After recording in a location with a sea breeze, wash the case thoroughly in fresh water with the buckles fastened to remove salt and sand, then wipe with a soft dry cloth.
- If sun oil is on the case, be sure to wash it off thoroughly using lukewarm water.
- Clean the inside of the case with a soft dry cloth. Do not wash the inside of the case.

Be sure to perform the above maintenance each time you use the case. Do not use any type of solvent such as alcohol, benzine or thinner for cleaning, as this might damage the surface finish of the case.

When storing the case

Avoid storing the case in a cold, very hot or humid place, or together with naphthalene or camphor, as these conditions might damage the unit.

Preparing the digital still camera

Install the digital still camera in a low-humidity room or a similar environment. Opening or closing the case in hot or humid locations may result in fogging of the front glass.

For details, refer to the operating instructions supplied with the digital still camera.

1 **Remove the strap from the digital still camera.**
2 **Insert the battery pack and "Memory Stick Duo."**
Be sure to use a fully charged battery pack.
Be sure that the "Memory Stick Duo" has enough space to record images.
3 **Turn on the power of the digital still camera.**
4 **Set the mode dial to the desired mode.**
After installing the digital still camera into the case, the mode dial cannot be operated from the outside.
5 **Set the AF illuminator to "OFF."**
This disables use of the AF illuminator.
6 **Set the flash to (Flash Off).**
Flash shooting is not available with the case.

A Installing the digital still camera

Always be sure to turn off the power when installing or removing the digital still camera. The lens may be damaged if the power is on.

1 **Turn off the power of the digital still camera.**
2 **Unbuckle the case (③②) and remove the protector ③.**
3 **Put the supplied desiccant in the case.**
About the desiccant
To prevent the case from fogging, place the desiccant inside the case one or two hours before shooting.
Store the unused desiccant in its original bag and keep the bag firmly closed.
By adequately drying the desiccant, it can be used about 200 times.
Drying the desiccant:
Store the desiccant in a room at a temperature between 20°C and 30°C and a humidity under 50% for about five hours to fully dry.
4 **Align the projecting part of the protector and the tripod receptacle of the digital still camera, then put the projecting part into the tripod receptacle until the hook on the tip catches the protector.**
Be sure to check the position of the projecting part using the table below.

Projecting part	Digital still camera
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Slide the protector to fit the groove of the case's lens part until it clicks.**
6 **Close the zipper ① and close the buckle lock as illustrated (②③).**
Be sure to close the zipper firmly. Not closing the zipper properly can cause a water leak.

B Attaching the neck strap

Align the tips of the neck strap and the projecting parts of the buckle and pull the neck strap in the direction of the arrow until it clicks.

C Shooting

1 **Turn on the power of the digital still camera.**
2 **Press the shutter button of the digital still camera.**

Notes
While you are recording movies, audio cannot be recorded correctly.

Removing the digital still camera

1 **Turn off the power of the digital still camera.**
2 **Open the case.**
3 **Remove the digital still camera from the case.**
When the digital still camera has been used for a long time, the digital still camera heats up. Turn off the power and leave for a while to cool down before removing the digital still camera from the case.

Be careful not to drop the digital still camera when removing it.

Notes
Carefully wipe any water off the case and your body before opening the case so that no drops get onto the digital still camera.

Specifications

Material
Plastic (PC, ABS), glass
Water-resistance
Zipper, buckle
Usable Depth
30 cm (1 foot)
Controllable switch
Power, Sutter, Zoom (W/T), Playback, Menu, Home, Slide Show, Enter, DISP, Macro, Self-timer, Flash
Dimensions
Approx. 170 × 132 × 65 mm (6 3/4 × 5 1/4 × 2 5/8 in.) (w/h/d)
(excluding the projecting parts)
Mass
Approx. 95 g (3.4 oz) (case only)
Included items
Waterproof Case (1), Neck strap (1), Protector (1), Desiccant (two-pack) (1), Set of printed documentation

Design and specifications are subject to change without notice.

Français

Caractéristiques principales

Ce boîtier étanche (appelé ci-dessous « boîtier ») APK-WA est exclusivement destiné à une utilisation avec les appareils photo numériques Sony DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
Le Cyber-shot adapté à ce boîtier n'est pas disponible dans tous les pays/régions.

Ce boîtier est étanche à l'eau, ce qui permet d'utiliser l'appareil photo numérique sous la pluie ou à proximité de l'eau (jusqu'à 30 cm de profondeur). Ce boîtier protège également l'appareil photo numérique de la poussière.

Avis

- Avant d'utiliser l'appareil photo numérique dans ce boîtier, vérifiez que l'appareil fonctionne correctement et que le boîtier ne présente pas de fuite.
- Dans le cas peu probable où un dysfonctionnement du boîtier provoquerait des dégâts dus à une fuite d'eau, Sony n'offre aucune garantie relative à d'éventuels dégâts causés à l'équipement qu'il contient (appareil photo numérique, batterie, etc.) ainsi qu'au contenu enregistré, ou aux frais relatifs à la prise de vue.

Précautions

- Ne soumettez pas la vitre avant à des chocs violents, car elle pourrait se briser.
- Evitez d'ouvrir le boîtier à proximité de l'eau ou sur l'eau. Les préparatifs, tels que l'installation de l'appareil photo numérique ou le changement de « Memory Stick Duo », doivent s'effectuer à l'intérieur, dans un endroit faiblement humide.
- Ne jetez pas le boîtier dans l'eau.
- Evitez d'utiliser le boîtier dans les situations suivantes :
  – dans un endroit extrêmement chaud ou humide ;
  – dans de l'eau d'une température supérieure à 40 °C (104 °F) ;
  – à une température inférieure à 0 °C (32 °F).

  Dans ces situations, de la condensation ou des fuites d'eau peuvent survenir et endommager l'appareil.
- N'utilisez pas le boîtier de manière ininterrompue pendant plus de 30 minutes en présence de températures supérieure à 35 °C (95 °F).
- Veillez à ne pas laisser tomber l'appareil photo numérique lorsque vous le retirez ou l'insérez dans son boîtier.
- Veillez à ne pas laisser le boîtier pendant une période prolongée sous les rayons directs du soleil, dans un endroit extrêmement chaud et humide. Si vous ne pouvez pas éviter de laisser le boîtier sous les rayons directs du soleil, veillez à le recouvrir d'une serviette ou d'une autre protection.
- L'appareil photo numérique chauffe si vous l'utilisez dans le boîtier pendant une période prolongée. Avant de retirer l'appareil de son boîtier, laissez-le à l'ombre ou dans un endroit frais pendant un certain temps afin qu'il refroidisse.
- N'utilisez pas le boîtier à plus de 30 cm de profondeur.

Si de l'huile solaire se trouve sur le boîtier, veillez à la nettoyer complètement à l'eau tiède. Si vous laissez de l'huile solaire sur le boîtier, sa surface risque de se décolorer ou d'être endommagée (par exemple, de se fissurer).

Fuite d'eau

En cas de fuite d'eau, arrêtez immédiatement d'exposer le boîtier à l'eau. Si l'appareil photo numérique est mouillé, emmenez-le immédiatement chez le revendeur Sony le plus proche. Les frais de réparation sont à la charge du client.

Entretien

- Après un enregistrement dans un endroit exposé à la brise de mer, lavez intégralement le boîtier à l'eau fraîche avec les boucles fermées afin d'éliminer le sel et le sable, puis essuyez-le à l'aide d'un chiffon doux et sec.
- Si de l'huile solaire se trouve sur le boîtier, veillez à la nettoyer complètement à l'eau tiède.
- Nettoyez l'intérieur du boîtier avec un chiffon doux et sec. Ne lavez pas l'intérieur du boîtier à l'eau.

Veillez à procéder à l'entretien ci-dessus à chaque utilisation du boîtier. Pour le nettoyage, n'utilisez pas de solvants, tels que de l'alcool, de l'essence ou du diluant, qui risqueraient d'abîmer la finition de la surface du boîtier.

Lors du rangement du boîtier

Evitez de ranger le boîtier dans un endroit froid, très chaud ou humide, ou encore avec de la naphtaline ou du camphre, car vous risqueriez de l'endommager.

Préparation de l'appareil photo numérique

Installez l'appareil photo numérique dans une pièce faiblement humide ou dans un endroit similaire. Si vous ouvrez ou fermez le boîtier dans un endroit très chaud ou humide, de la buée risque de se former sur la vitre avant.

Pour plus d'informations, consultez le mode d'emploi fourni avec l'appareil photo numérique.

1 **Retirez la dragonne de l'appareil photo numérique.**
2 **Insérez la batterie et le « Memory Stick Duo ».**
Veillez à utiliser une batterie complètement chargée.
Vérifiez que le « Memory Stick Duo » dispose de suffisamment d'espace pour enregistrer des images.
3 **Mettez l'appareil photo numérique sous tension.**
4 **Réglez le sélecteur de mode sur le mode de votre choix.**
Une fois l'appareil photo numérique installé dans son boîtier, il est impossible d'utiliser le sélecteur de mode depuis l'extérieur.
5 **Réglez l'illuminateur AF sur « OFF ».**
Cela désactive l'utilisation de l'illuminateur AF.
6 **Réglez le flash sur (Flash désactivé).**
La prise de vue au flash n'est pas disponible avec le boîtier.

A Installation de l'appareil photo numérique

Veillez toujours à mettre l'appareil hors tension lorsque vous l'installez ou le retirez. Sinon, vous risquez d'endommager l'objectif.

1 **Mettez l'appareil photo numérique hors tension.**
2 **Débouclez le boîtier ①② et retirez la protection ③.**
3 **Insérez le dessicatif fourni dans le boîtier.**
A propos du dessicatif
Pour éviter toute formation de buée sur le boîtier, placez le dessicatif à l'intérieur de celui-ci une ou deux heures avant la prise de vue.
Rangez le dessicatif inutilisé dans son sac d'origine et conservez-le hermétiquement fermé.
Si vous séchez correctement le dessicatif, vous pouvez l'utiliser environ 200 fois.
Séchage du dessicatif :
Pour sécher complètement le dessicatif, laissez-le pendant cinq heures environ dans une pièce dont la température est comprise entre 20°C et 30°C et dont l'humidité est inférieure à 50 %.
4 **Alignez la partie saillante de la protection et le filetage pour trépied de l'appareil photo numérique, puis insérez la partie saillante du filetage pour trépied jusqu'à ce que le crochet de la pointe s'accroche à la protection.**
N'oubliez pas de vérifier la position de la partie saillante à l'aide du tableau ci-dessous.

Partie saillante	Appareil photo numérique
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Faites glisser la protection afin qu'elle s'ajuste sur la rainure de la partie objectif du boîtier jusqu'au déclic.**
6 **Fermez la fermeture à glissière ① et le verrou de la boucle de la manière illustrée (②③).**
Veillez à fermer correctement la fermeture à glissière. Sinon, une fuite d'eau risque de survenir.

B Fixation de la courroie de cou

Alignez les extrémités de la courroie de cou et les parties saillantes de la boucle, puis insérez la courroie de cou dans le sens de la flèche jusqu'au déclic.

C Prise de vue

1 **Mettez l'appareil photo numérique sous tension.**
2 **Enfoncez le déclencheur de l'appareil photo numérique.**

Remarques
Pendant l'enregistrement de films, le son n'est pas correctement enregistré.

Retrait de l'appareil photo numérique

1 **Mettez l'appareil photo numérique hors tension.**
2 **Ouvrez le boîtier.**
3 **Retirez l'appareil photo numérique du boîtier.**
Si vous avez utilisé l'appareil photo numérique pendant une période prolongée, il est normal qu'il soit chaud. Mettez l'appareil hors tension et laissez-le refroidir un certain temps avant de le retirer de son boîtier.

Veillez à ne pas laisser tomber l'appareil photo numérique lorsque vous le retirez.

2 **Pulse el botón del disparador de la cámara digital de imágenes fijas.**

Notas
Durante la grabación de películas, no podrá grabar sonido correctamente.

Extracción de la cámara digital de imágenes fijas

1 **Desconecte la alimentación de la cámara digital de imágenes fijas.**
2 **Abra la funda.**
3 **Retire la cámara digital de imágenes fijas de la funda.**
La cámara digital de imágenes fijas se utiliza después de utilizarse durante mucho tiempo. Desconecte la alimentación de la cámara digital de imágenes fijas y deje que se enfríe durante un tiempo antes de extraerla de la funda.

Procure que la cámara digital de imágenes fijas no se caiga al extraerla.

Notas
Limpie con cuidado cualquier resto de agua de la funda o de su cuerpo antes de abrir la funda para evitar que entren gotas en la cámara digital de imágenes fijas.

Especificaciones

Material
Plástico (PC, ABS), cristal
Resistente al agua
Cremallera, hebilla
Profundidad de uso
30 cm
Botones controlables
Alimentación, Disparador, Zoom (W/T), Reproducir, Menú, HOME, Diapositivas, Enter, DISP, Macro, Autodisparador, Flash
Dimensiones
Aprox. 170 × 132 × 65 mm (an/al/prf)
(excluidas las piezas protectoras)
Peso
Aprox. 95 g (solamente la funda)
Elementos incluidos
Funda resistente al agua (1), Correa para el cuello (1), Protector (1), Desecador (dos paquetes) (1), Juego de documentación impresa

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambios sin previo aviso.

Nederlands

Hoofdkenmerk

Deze APK-WA waterdichte hoes (hierna "hoes" genoemd) kan enkel worden gebruikt met de Sony digitale fotocamera's DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
Een Cybershot voor deze hoes is niet beschikbaar in alle landen/regio's.

De hoes is waterdicht, dus de digitale fotocamera kan in de regen of in de nabijheid van water worden gebruikt (bruikbaar tot op een diepte van 30 cm). De digitale fotocamera is ook beschermd tegen stof met deze hoes.

Opmerking

- Controleer dat de digitale fotocamera correct werkt en dat de hoes niet lekt voor u de digitale fotocamera gaat gebruiken in de hoes.
- Mocht het voorvallen dat een defect van de hoes leidt tot waterschade, kan Sony niet verantwoordelijk worden gesteld voor schade aan het toestel in de hoes (digitale fotocamera, batterij, enz.) en aan de opnames, noch voor kosten aan het toestel.

Voorzorgsmaatregelen

- Stel het glas aan de voorkant niet bloot aan sterke trillingen. Het glas kan hierdoor barsten.
- Open de hoes niet in de nabijheid van of op het water. U moet de voorbereiding, zoals het plaatsen van de digitale fotocamera en het vervangen van de "Memory Stick Duo", uitvoeren op een plaats met een lage luchtvochtigheid.
- Gooi de hoes niet in het water.
- Gebruik de hoes niet in de volgende omstandigheden:
  – op zeer warme of vochtige plaatsen.
  – in water warmer dan 40 °C
  – bij temperaturen beneden 0 °C.

  In deze omstandigheden kan vochtcondensatie of waterlekkage optreden en kan het toestel worden beschadigd.
- Bij temperaturen boven 35 °C mag u de hoes niet langer dan 30 minuten achtereen gebruiken.
- Laat de digitale fotocamera niet vallen als u deze verwijdert uit of plaatst in de hoes.
- Laat de hoes niet gedurende een lange periode in direct zonlicht op een zeer warme en vochtige plaats liggen. Als u de hoes toch in direct zonlicht moet laten liggen, moet u de hoes bedekken met een handdoek of andere bescherming.
- De digitale fotocamera wordt warm na langdurig gebruik in de hoes. Voordat u de digitale fotocamera uit de hoes haalt, moet u de hoes met de camera een tijdje in de schaduw of op een andere koele plaats leggen, zodat de camera kan afkoelen.
- Gebruik de hoes niet in water dieper dan 30 cm.

Als er zonnebrandolie op de hoes terechtkomt, moet u de hoes goed reinigen met lauw water. Als u de zonnebrandolie niet van de hoes verwijdert, kan de buitenkant van de hoes verkleuren of beschadigen (er kunnen scheurtjes in het oppervlak ontstaan).

Waterlekkage

Als er waterlekkage optreedt, mag u de hoes niet langer aan water blootstellen.
Als de digitale fotocamera nat wordt, moet u de camera direct naar de dichtstbijzijnde Sony-handelaar brengen. Eventuele reparatiekosten zijn voor rekening van de klant.

Onderhoud

- Wanneer u opnamen hebt gemaakt in een omgeving met zeewind, moet u de hoes goed spoelen met zoet water om zout en zand te verwijderen. Hierbij moeten de sluitklemmen gesloten zijn. Veeg daarna de hoes af met een zachte, droge doek.
- Als er zonnebrandolie op de hoes terechtkomt, moet u de hoes goed reinigen met lauw water.
- Reinig de binnenkant van de hoes met een zachte, droge doek. Maak de binnenkant van de hoes niet nat.

Voer het bovenstaande onderhoud altijd uit als u de hoes gebruikt. Gebruik geen oplosmiddelen zoals alcohol, benzine of thinner, omdat deze het oppervlak van de hoes kunnen beschadigen.

De hoes opbergen

Bewaar de hoes niet op een koude, zeer hete of vochtige plaats of samen met naftaleen of kamfer. Hierdoor kan de hoes worden beschadigd.

De digitale fotocamera voorbereiden

Plaats de digitale fotocamera in de hoes in een ruimte met een lage luchtvochtigheid of een vergelijkbare omgeving. Als u de hoes in een zeer warme of vochtige omgeving opent, kan het glas aan de voorkant beslaan.

Raadpleeg de gebruiksaanwijzing bij de digitale fotocamera voor meer informatie.

1 **Maak de riem los van de digitale fotocamera.**
2 **Plaats de batterij en de "Memory Stick Duo".**
Zorg ervoor dat u een volledig opgeladen batterij gebruikt.
Zorg ervoor dat er genoeg vrije ruimte beschikbaar is op de "Memory Stick Duo" om beelden te kunnen opnemen.
3 **Schakel de digitale fotocamera in.**
4 **Zet de modusknop op de gewenste stand.**
Nadat u de digitale fotocamera in de hoes hebt geplaatst, kunt u de modusknop niet langer bedienen.
5 **Zet de AF-verlichting op "OFF".**
De AF-verlichting is nu uitgeschakeld.
6 **Stel de flitser in op (Flitser uit).**
U kunt de flitser niet gebruiken met de hoes.

A De digitale fotocamera plaatsen

Schakel voor het plaatsen of verwijderen van de digitale fotocamera de camera altijd eerst uit. Met de camera ingeschakeld zou de lens beschadigd kunnen worden.

1 **Schakel de digitale fotocamera uit.**
2 **Open de sluitklemmen van de hoes ①② en verwijder de bescherming ③.**
3 **Plaats het bijgeleverde droogmiddel in de hoes.**
Over het droogmiddel
Om te voorkomen dat de hoes gaat bedampen, plaatst u het droogmiddel een of twee uur voor de opname in de hoes.
Bewaar het ongebruikte droogmiddel in de originele verpakking en zorg ervoor dat de verpakking good gesloten blijft.
Als u het droogmiddel zorgvuldig laat drogen, kan het ongeveer 200 keer worden gebruikt.
Het droogmiddel drogen:
Leg het droogmiddel gedurende ongeveer vijf uur in een kamer met een temperatuur tussen 20°C en 30°C en een luchtvochtigheid van minder dan 50% om het volledig uit te laten drogen.
4 **Breng het uitstekende deel van de bescherming op een lijn met het schroefgat voor het statief van de digitale fotocamera en plaats vervolgens het uitstekende deel in het schroefgat voor het statief tot het haakje op het uiteinde de bescherming vasthaakt.**
Zorg ervoor dat u de positie van het uitstekende deel controleert aan de hand van de tabel hieronder.

Uitstekende deel	Digitale fotocamera
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Verschuif de bescherming tot die gelijk komt met de uitsparing van het lensdeel van de hoes. U hoort een klik.**
6 **Sluit de rits ① en sluit de sluitklemmen zoals weergegeven (②③).**
Zorg ervoor dat de rits goed gesloten is. Als de rits niet goed gesloten is, kan dit waterlekkage veroorzaken.

B De nekriem vastmaken

Maak de uiteinden van de nekriem vast aan de uitstekende delen van de sluitklem en trek de nekriem in de richting van de pijl tot u een klik hoort.

C Opnames maken

1 **Schakel de digitale fotocamera in.**
2 **Druk op de sluiterknop van de digitale fotocamera.**

Opmerkingen
U kunt geen duidelijk geluid opnemen wanneer u films opneemt.

De digitale fotocamera verwijderen

1 **Schakel de digitale fotocamera uit.**
2 **Open de hoes**
3 **Verwijder de digitale fotocamera uit de hoes.**
Als u de digitale fotocamera lange tijd hebt gebruikt, wordt deze warm. Schakel de stroom uit en laat de camera enige tijd afkoelen voordat u de digitale fotocamera uit de hoes verwijdert.

Laat de digitale fotocamera niet vallen wanneer u deze verwijdert.

Opmerkingen
Veeg het water van de hoes en uw lichaam voordat u de hoes opent zodat er geen druppels op de digitale fotocamera vallen.

Technische gegevens

Materiaal
Plastic (PC, ABS), glas
Waterbestendig
Rits, sluitklem
Te gebruiken tot een diepte van
30 cm
Bedieningselementen die kunnen worden gebruikt
Aan/uit, sluiter, zoom (W/T), afspelen, menu, home, diavoorstelling, bevestigen, DISP, macro, zelfontspanner, flitser
Afmetingen
Ongeveer 170 × 132 × 65 mm (b/h/d)
(exclusief uitstekende delen)
Gewicht
Ongeveer 95 g (alleen hoes)
Bijgeleverd toebehoren
Waterdichte tas (1), Nekriem (1), Bescherming (1), Droogmiddel (twee pakjes) (1), Handleiding en documentatie

Wijzigingen in ontwerp en technische gegevens voorbehouden, zonder kennisgeving.

Deutsch

Hauptmerkmale

Das wasserdichte Gehäuse APK-WA (im Folgenden als „Gehäuse" bezeichnet) ist speziell für die digitale Standbildkamera DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110 von Sony konzipiert.
Die für dieses Gehäuse geeigneten Cyber-shot-Modelle sind nicht in allen Ländern/Regionen erhältlich.

Das Gehäuse ist wasserdicht und ermöglicht den Einsatz der digitalen Standbildkamera bei Regen bzw. am oder auf dem Wasser (verwendbar bis zu einer Tiefe von 30 cm). Das Gehäuse schützt die digitale Standbildkamera auch vor Staub.

Hinweis

- Vergewissern Sie sich, dass die digitale Standbildkamera ordnungsgemäß funktioniert und dass kein Wasser in das Gehäuse eindringt, bevor Sie die digitale Standbildkamera im Gehäuse verwenden.
- In dem unwahrscheinlichen Fall, dass eine Funktionsstörung des Gehäuses einen Schaden durch Eindringen von Wasser verursacht, übernimmt Sony keine Haftung für eine Beschädigung der darin enthaltenen Ausrüstungsteile (digitale Standbildkamera, Akku usw.) und der Aufnahmen und leistet auch keinen Schadenersatz für die mit den Aufnahmen verbundenen Unkosten.

Vorsichtsmaßnahmen

- Schützen Sie das Frontglas vor Stößen, da es sonst springen könnte.
- Öffnen Sie das Gehäuse möglichst nicht am oder auf dem Wasser. Vorbereitungen wie das Einsetzen der digitalen Standbildkamera und das Auswechseln des „Memory Stick Duo" sollten Sie drinnen an einem Ort mit geringer Luftfeuchtigkeit ausführen.
- Werfen Sie das Gehäuse nicht ins Wasser.
- Verwenden Sie das Gehäuse möglichst nicht unter folgenden Bedingungen:
  – an einem sehr heißen oder feuchten Ort.
  – bei Wassertemperaturen über 40 °C.
  – bei Lufttemperaturen unter 0 °C.

  Unter solchen Bedingungen kann sich Feuchtigkeit niederschlagen oder Wasser eindringen und die Ausrüstung wird möglicherweise beschädigt.
- Verwenden Sie das Gehäuse bei Temperaturen über 35 °C nicht länger als 30 Minuten am Stück.
- Achten Sie beim Einsetzen und Herausnehmen der digitalen Standbildkamera darauf, dass sie nicht herunterfällt.
- Lassen Sie das Gehäuse nicht längere Zeit in direktem Sonnenlicht oder an einem sehr heißen und feuchten Ort liegen. Sollten Sie jedoch keinen schattigen Platz finden, schützen Sie das Gehäuse zumindest mit einem Handtuch o. Ä. vor direkter Sonne.
- Die digitale Standbildkamera erwärmt sich nach längerem Betrieb im Gehäuse. Lassen Sie das Gehäuse einige Zeit im Schatten oder an einem kühlen Ort abkühlen, bevor Sie die digitale Standbildkamera herausnehmen.
- Verwenden Sie das Gehäuse nicht in Tiefen unter 30 cm.

Waschen Sie Sonnenöl gegebenenfalls sorgfältig mit lauwarmem Wasser vom Gehäuse ab. Sonnenöl kann das Gehäusematerial angreifen, so dass es sich verfärbt oder Risse bekommt.

Eindringen von Wasser

Wenn Wasser eindringt, bringen Sie das Gehäuse sofort ins Trockene. Wenn die digitale Standbildkamera nass geworden ist, bringen Sie sie umgehend zum nächsten Sony-Händler. Reparaturen sind kostenpflichtig.

Wartung

- Nach Aufnahmen an Orten, an denen das Gehäuse der Seeluft ausgesetzt war, waschen Sie Salz und Sand bei fest verschlossener Verschlussklasche mit Süßwasser ab. Wischen Sie das Gehäuse dann mit einem trockenen, weichen Tuch ab.
- Waschen Sie Sonnenöl gegebenenfalls sorgfältig mit lauwarmem Wasser vom Gehäuse ab.
- Reinigen Sie das Innere des Gehäuses mit einem weichen, trockenen Tuch. Waschen Sie das Innere des Gehäuses nicht aus.

Führen Sie die obigen Wartungsmaßnahmen bei jeder Verwendung des Gehäuses durch. Verwenden Sie zum Reinigen keine Lösungsmittel wie Verdünner, Benzin oder Alkohol. Diese könnten die Beschichtung des Gehäuses angreifen.

Aufbewahren des Gehäuses

Bewahren Sie das Gehäuse nicht an einem Ort auf, an dem

Svenska

Huvudfunktioner

Det här vattentätа fodralet (nedan kallat "fodral"), APK-WA, är bara avsett för att användas med Sonys digitala stillbildskamera DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
Cyber-shot för detta fodral är inte tillgängligt i alla länder/regioner.

Fodralet är vattentätt och gör att du kan använda den digitala stillbildskameran i regn eller nära vatten. (Vattentät till 30 centimeter) Den digitala stillbildskameran skyddas även från damm med fodralet.

Obs!
- Innan du använder den digitala stillbildskameran med detta fodral, ska du kontrollera att kameran fungerar som den ska och att hålget inte läcker.
- Om det mot all förmodan skulle hända att fodralet inte fungerar som det är tänkt så att det uppstår skador på grund av läckage, har inte Sony utfärdat någon garanti som täcker skador på utrustningen i fodralet (den digitala stillbildskameran, batteriet, osv.) eller innehållet i de inspelningar du gjort, eller andra kostnader som uppstår på grund av ett sådant fel.

Försiktighetsåtgärder

- Utsätt inte frontglaset för kraftiga stötar, det kan gå sönder.
- Undvika att öppna fodralet nära vattnet eller när du är ute i vattnet. Förberedelser, som t.ex. installation av den digitala stillbildskameran eller byte av "Memory Stick Duo", bör göras inomhus på en plats där luftfuktigheten är låg.
- Kasta inte fodralet i vattnet.
- Undvik att använda fodralet:
  – där det är mycket varmt och fuktigt.
  – där vattnet är varmare än 40 °C.
  – där det är kallare än 0 °C.

  I dessa fall kan det bildas kondens eller uppstå läckage som kan skada utrustningen.
- Använd inte fodralet längre än 30 minuter på en plats där temperaturen överstiger 35 °C.
- Var försiktig så att du inte tappar den digitala stillbildskameran när du tar ur eller stoppar in den i fodralet.
- Lämna inte fodralet någon längre stund i direkt solljus eller där det är mycket varmt och fuktigt. Om du inte kan undvika att lämna fodralet i direkt solljus bör täcka över den med en handduk eller liknande som skydd.
- Den digitala stillbildskameran blir varm om du använder den i fodralet under en längre tid. Innan du ta ur den digitala stillbildskameran från fodralet bör du låta den stå och svalna genom att lägga det en stund i skuggan, eller på någon annan plats där det svalt.
- Använd inte fodralet på större djup än 30 cm.

Om det har kommit sololja på skyddsfodralet bör du tvätta av det ordentligt med ljummet vatten. Om du inte tvättar bort eventuell sololja som kommit på fodralet finns det risk för att ytan blir missfärgad eller skadad (det kan tex. uppstå sprickor på ytan).

Läckage
Om du upptäcker att vatten läcker in bör du genast sluta utsätta fodralet för vatten.
Om den digitala stillbildskameran blivit vät bör du genast ta den till närmaste Sony-återförsäljare. Kunden får själv stå för eventuella reparationskostnader.

Underhåll

- När du fotograferar i den salthaltiga luften vid havet och i dess närhet bör du tvätta av fodralet ordentligt i sötvatten så att du får bort salt och sand, och sedan torka av det med en torr, mjuk duk.
- Om det har kommit sololja på fodralet bör du tvätta av det ordentligt med ljummet vatten.
- Torka ur fodralets insida med en mjuk och torr duk. Tvätta inte fodralets insida.

Ovanstående underhåll bör du utföra varje gång du använt fodralet. Använd aldrig någon typ av lösningsmedel när du rengör fodralet, t ex alkohol, bensin eller thinner, eftersom det kan skada ytbehandlingen.

Förvaring av fodralet
Undvika att förvara fodralet där det är kallt, väldigt varmt eller fuktigt och förvara det inte heller tillsammans med naftalin eller malmedel, eftersom det kan skada fodralet.

Förbereda den digitala stillbildskameran

Installera den digitala stillbildskameran i ett rum eller liknande plats där luftfuktigheten är låg. Om du öppnar eller stänger fodralet där det är varmt eller fuktigt finns det risk för imbildning på frontglaset.

Mer information finns i den medföljande bruksanvisningen till den digitala stillbildskameran.
1 **Ta bort remmen från den digitala stillbildskameran.**
2 **Sätt i batteriet och "Memory Stick Duo".**
   Se till att batteriet du använder är fulladdat.
   Kontrollera att "Memory Stick Duo" har tillräckligt utrymme för att spela in bilder.
3 **Slå på strömmen till den digitala stillbildskameran.**
4 **Ställ in lägesväljaren på önskat läge.**
   När den digitala stillbildskameran har installerats i fodralet, kan lägesväljaren inte styras från utsidan.
5 **Ställ in AF-hjälpljuset på "OFF".**
   Detta inaktiverar AF-hjälpljuset.
6 **Ställ in blixten på (Blixten av).**
   Det går inte att fotografera med blixt när man använder fodralet.

A Installera den digitala stillbildskameran

Se alltid till att slå av strömmen när den digitala stillbildskameran sätts i eller tas ur. Objektivet kan skadas om strömmen är på.

1 **Stäng av strömmen till den digitala stillbildskameran.**
2 **Öppna fodralet ⓧ② och ta bort skyddet ③.**
3 **Placera det medföljande tvärmedlet i fodralet.**
   Om tvärmedlet
   För att förhindra att fodralet blir immigt, placerar du tvärmedlet inuti fodralet en eller två timmar före fotografering.
   Förvara det oanvända tvärmedlet dess originalpåse och förvara påsen stängd.
   Genom att nöjaktigt torka tvärmedlet, kan det användas 200 gånger.
   Torka tvärmedlet:
   Förvara tvärmedlet i ett rum som har en temperatur på mellan 20°C och 30°C, och en luftfuktighet under 50 % under cirka fem timmar, för att torka medlet helt.
4 **Rikta in den utskjutande delen på skyddet mot stativfästet på den digitala stillbildskameran, och för därefter in den utskjutande delen i stativfästet tills haken på spetsen fäster i kameran.**
   Kontrollera positionen för den utskjutande delen med hjälp av tabellen nedan.

Utskjutande del	Digital stillbildskamera
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **För in skyddet så att det passar in i spåret i fodralets objektivdel tills det klickar.**
6 **Stäng blixtlåset ① och lås spännet enligt bilden ②③.**
   Se till att du stänger blixtlåset ordentligt. Om du inte stänger blixtlåset ordentligt kan det leda till läckage.

B Sätta fast halsremmen

Rikta in ändarna på halsremmen mot de utskjutande delarna på spännet och dra halsremmen i pilens riktning tills det klickar.

C Fotografering

1 **Sätt på strömmen till den digitala stillbildskameran.**
2 **Tryck på avtryckaren på den digitala stillbildskameran.**

Obs!
När du spelar in film, kan ljudet inte spelas in korrekt.

Ta ur den digitala stillbildskameran

1 **Stäng av strömmen till den digitala stillbildskameran.**
2 **Öppna fodralet.**
3 **Ta ut den digitala stillbildskameran ur fodralet.**
   När den digitala stillbildskameran har använts en längre tid blir den varm. Innan du tar ut den digitala stillbildskameran bör du stänga av strömmen och låta den stå använd en stund så att den hinner svalna.

Se till så att du inte tappar den digitala stillbildskameran när du tar ur den.

Obs!
Torka av fodralet så att det är torrt och torka också dig själv så att inget vatten kommer på den digitala stillbildskameran.

Specifikationer

Material
Plast (PC, ABS), glas

Vattentäthet
Blixtlås, spänne

Vattendjup
30 cm

Omkopplare som kan användas
Strömbrytare, avtryckare, zoomning (W/T), uppspelning, meny, start, bildspel, enter, DISP, makro, självutlösare, blixt

Storlek
Ca. 170 × 132 × 65 mm (b/h/d)
(exklusive utskjutande delar)

Vikt
Ca. 95 g (endast fodralet)

Inkluderade artiklar
Vattentät väska (1), Halsrem (1), Skydd (1), Torkmedel (två-pack) (1), Uppsättning tryckt dokumentation

Utförande och specifikationer kan ändras utan föregående meddelande.

Italiano

Caratteristiche principali

La custodia impermeabile (di seguito definita "custodia") APK-WA è destinata esclusivamente all'uso te fotocamere digitali Sony DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
Cyber-shot per questa custodia non è disponibile in tutti i paesi o regioni.

La custodia è impermeabile, pertanto è possibile utilizzare la fotocamera digitale sotto la pioggia o in prossimità dell'acqua (utilizzabile fino a una profondità di 30 cm). La custodia consente inoltre di proteggere la fotocamera digitale dalla polvere.

Avviso
- Prima di utilizzare la fotocamera digitale nella custodia, verificare che la fotocamera stessa funzioni correttamente e che la custodia non perda.
- Nell'improbabile caso in cui un problema di funzionamento della custodia provochi danni dovute a infiltrazioni d'acqua, Sony non risponde dei danni all'apparecchiatura contenuta nella custodia stessa (fotocamera digitale, blocco batteria e così via) e al contenuto registrato, né delle spese comportate dalla fotografia.

Precauzioni

- Non sottoporre il vetro anteriore a urti, onde evitarne la rottura.
- Evitare l'apertura della custodia in prossimità dell'acqua. La preparazione (inserimento della fotocamera digitale e sostituzione della "Memory Stick Duo") deve essere eseguita al chiuso e in condizioni di bassa umidità.
- Non gettare in acqua la custodia.
- Evitare l'uso della custodia nelle situazioni indicate di seguito:
  – In luoghi particolarmente caldi o umidi.
  – In acqua con temperatura superiore a 40°C.
  – A temperature inferiori a 0°C.

  In questi casi, è possibile che si produca della condensa o che si verifichino infiltrazioni d'acqua, che possono danneggiare l'apparecchiatura.
- Utilizzare la custodia per un tempo inferiore a 30 minuti con temperature superiori a 35°C.
- Evitare di far cadere la fotocamera digitale durante l'estrazione o l'inserimento nella custodia.
- Non lasciare la custodia esposta alla luce diretta del sole, in ambienti caldi e umidi, per lunghi periodi. Se non è possibile evitare di lasciare la custodia alla luce del sole, coprirla con un telo o con un'altra protezione.
  In questi casi, è possibile che si produca della condensa o che si verifichino infiltrazioni d'acqua, che possono danneggiare l'apparecchiatura.
- Utilizzare la custodia per un tempo inferiore a 30 minuti con temperature superiori a 35°C.
- Non utilizzare la custodia a una profondità superiore a 30 cm.

Rimuovere eventuali residui di olio solare sulla custodia con acqua tiepida. La presenza prolungata di olio solare sulla superficie della custodia può provocarne lo scolorimento o altri danni, ad esempio crepe sulla superficie.

Infiltrazioni d'acqua
Se si verificano infiltrazioni d'acqua, terminare immediatamente l'esposizione all'acqua della custodia.
Se la fotocamera digitale si è bagnata, consegnarla subito al rivenditore Sony di zona. I costi di riparazione sono a carico del cliente.

Manutenzione

- Dopo aver effettuato registrazioni in presenza di brezza marina, lavare la custodia in acqua fresca, con le fibbie serrate, per rimuovere salsedine e sabbia, quindi asciugarla con un panno morbido e asciutto.
- Rimuovere eventuali residui di olio solare sulla custodia con acqua tiepida.
- Pulire la parte interna della custodia con un panno morbido e asciutto. Non lavare l'interno della custodia.

Eseguire le suddette operazioni di manutenzione ad ogni utilizzo della custodia. Per la pulizia non utilizzare alcun tipo di solvente, quali alcool o benzina, onde evitare danni al rivestimento superficiale della custodia.

Conservazione della custodia
Evitare di conservare la custodia in ambienti freddi, molto caldi o umidi, oppure in presenza di naftalina o canfora, in quanto queste condizioni possono provocare danni all'unità.

Preparazione della fotocamera digitale

Inserire la fotocamera digitale nella custodia in un ambiente con umidità ridotta. L'apertura o la chiusura della custodia in ambienti caldi o umidi può provocare la formazione di condensa sul vetro anteriore.

Per ulteriori informazioni, consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con la fotocamera digitale.
1 **Rimuovere la cinghietta della fotocamera digitale.**
2 **Inserire il blocco batteria e la "Memory Stick Duo".**
   Utilizzare un blocco batteria completamente carico.
   Assicurarsi che la "Memory Stick Duo" disponga di spazio sufficiente per la registrazione delle immagini.
3 **Accendere la fotocamera digitale.**
4 **Impostare la manopola di selezione del modo sul modo desiderato.**
   Dopo aver inserito la fotocamera digitale nella custodia, la manopola di selezione del modo non è più utilizzabile dall'esterno.
5 **Impostare l'illuminatore AF su "OFF."**
   Con questa operazione viene disattivato l'uso dell'illuminatore AF.
6 **Impostare il flash su (Flash disattivato).**
   La ripresa con il flash non è consentita durante l'uso della custodia.

A Inserimento della fotocamera digitale

Spegnere sempre la fotocamera durante l'inserimento o la rimozione della fotocamera digitale. Se la fotocamera è accesa, l'obiettivo potrebbe subire danni.

1 **Spegnere la fotocamera digitale.**
2 **Aprire la custodia ⓧ② e rimuovere il dispositivo di protezione ③.**
3 **Inserire nella custodia la sostanza essiccante in dotazione.**
   Informazioni sulla sostanza essiccante
   Per impedire la formazione di condensa nella custodia, inserire la sostanza essiccante nella custodia una o due ore prima delle riprese.
   Conservare la sostanza essiccante inutilizzata nella confezione originale, tenendola ben chiusa.
   Con una corretta essiccazione, la sostanza essiccante può essere utilizzata fino a 200 volte.
   Essiccazione della sostanza essiccante:
   Per un'essiccazione completa, conservare la sostanza essiccante in una stanza con temperatura compresa tra 20°C e 30°C e un'umidità inferiore al 50%, per circa cinque ore.
4 **Allineare la parte sporgente del dispositivo di protezione e l'attacco per treppiede della fotocamera digitale, quindi inserire la parte sporgente nell'attacco per treppiede fino ad agganciare il gancio posto sull'estremità con il dispositivo di protezione.**
   Controllare la posizione della parte sporgente facendo riferimento alla tabella di seguito.

Parte sporgente	Fotocamera digitale
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Far scorrere il dispositivo di protezione nella scanalatura per l'obiettivo della custodia fino allo scatto.**
6 **Chiudere la cerniera ①, quindi chiudere la fibbia come mostrato nella figura ②③.**
   Chiudere saldamente la cerniera. Una chiusura errata della cerniera può causare infiltrazioni d'acqua.

B Applicazione della tracolla

Allineare le estremità della tracolla alle parti sporgenti della fibbia, quindi tirare la tracolla in direzione della freccia fino allo scatto.

C Ripresa

1 **Accendere la fotocamera digitale.**
2 **Premere il pulsante di scatto della fotocamera digitale.**

Note
Durante la registrazione dei filmati l'audio non viene registrato correttamente.

Estrazione della fotocamera digitale

1 **Spegnere la fotocamera digitale.**
2 **Aprire la custodia.**
3 **Estrarre la fotocamera digitale dalla custodia.**
   La fotocamera digitale si surriscalda se viene utilizzata per lungo tempo. Spegnere la fotocamera e attendere che si raffreddi prima di estrarla dalla custodia.

Evitare di far cadere la fotocamera digitale durante l'estrazione.

Note
Asciugare l'eventuale acqua presente all'esterno della custodia e sul corpo dell'operatore prima di aprire la custodia, onde evitare la caduta di gocce sulla fotocamera digitale.

Português

Função Principal

Esta caixa à prova de água (referida a seguir como "caixa") APK-WA só pode ser utilizada com a câmara digital Sony DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
A Cyber-shot para esta caixa não está disponível em todos os países/regiões.

Esta caixa é à prova de água, permitindo utilizar a câmara digital com chuva ou na proximidade de água. (Pode ser utilizada a uma profundidade de 30 cm) A caixa também protege a câmara digital do pó.

Nota
- Antes de utilizar a câmara digital na caixa, verifique se a câmara está a funcionar correctamente e se a caixa não apresenta infiltrações.
- Na eventualidade, improvável, de uma avaria na caixa provocar danos devido a infiltrações, a Sony não se responsabiliza pelos danos no equipamento contido na caixa (câmara digital, bateria, etc.), nem no conteúdo gravado nem pelas despesas implicadas na fotografia.

Precauções

- Não sujeite o vidro frontal a choques fortes, pois pode partir-lo.
- Evite abrir a caixa na água ou na sua proximidade. A preparação como, por exemplo, a instalação da câmara digital e a mudança do "Memory Stick Duo", deve ser feita num espaço interior e com humidade baixa.
- Não atire a caixa para dentro de água.
- Evite utilizar a caixa nas seguintes situações:
  – num local muito quente ou húmido.
  – dentro de água quente com uma temperatura superior a 40 °C.
  – em locais com temperaturas inferiores a 0 °C.

  Nestas situações, o equipamento pode ficar danificado devido à condensação de humidade ou a infiltrações.
- Não utilize a caixa por períodos superiores a 30 minutos, de uma vez, a temperaturas superiores a 35 °C.
- Tenha cuidado para não deixar a câmara digital cair quando a retirar ou colocar dentro da caixa.
- Não deixe a caixa exposta à acção directa dos raios solares, num local muito quente e húmido, durante muito tempo. Se tiver que a deixar ao sol, tape-a com uma toalha ou com outra protecção.
  A câmara digital aquece, quando é utilizada dentro da caixa durante um longo período de tempo. Antes de retirar a câmara digital da caixa, deixe a caixa à sombra ou noutro local fresco durante algum tempo para arrefecer.
- Não utilize a caixa a profundidades superiores a 30 cm.

Se sujar a caixa com protector solar, lave-a cuidadosamente com água morna. Se deixar protector solar na caixa, a superfície da caixa pode perder a cor ou danificar-se (por exemplo, rachas na superfície).

Infiltrações
Se deixar entrar água, retire imediatamente a caixa.
Se a câmara digital se molhar, leve-a imediatamente ao agente Sony mais próximo. Os custos de reparação são suportados pelo cliente.

Manutenção

- Depois de gravar num local perto do mar, lave bem a caixa com água doce com os fechos apertados para retirar o sal e a areia e depois seque-a com um pano seco macio.
- Se sujar a caixa com protector solar, lave-a cuidadosamente com água morna.
- Limpe o interior da caixa com um pano macio seco. Não lave o interior da caixa.

Sempre que utilizar a caixa, efectue a manutenção indicada acima. Não a limpe com nenhum tipo de solvente, como álcool, benzina ou diluente, pois pode danificar o acabamento respectivo.

Quando guardar a caixa
Não guarde a caixa num local demasiado frio, húmido ou quente, nem coloque naftalina ou cânfora dentro dela pois pode danificá- la.

Preparar a câmara digital

Instale a câmara digital num compartimento com pouca humidade ou num ambiente semelhante. Se abrir ou fechar a caixa num local quente ou húmido, o vidro frontal pode ficar embaciado.

Para obter mais informações, consulte o manual de instruções fornecido com a câmara digital.
1 **Retire a correia da câmara digital.**
2 **Introduza a bateria e o "Memory Stick Duo."**
   Utilize uma bateria totalmente carregada.
   Certifique-se de que o "Memory Stick Duo" possui espaço suficiente para gravar imagens.
3 **Ligue a câmara digital.**
4 **Coloque o selector de modo na função desejada.**
   Após instalar a câmara digital na caixa, o selector de modo não pode ser utilizado a partir do exterior.
5 **Regule o iluminador AF para "OFF" (Desligado).**
   Esta acção desactiva a utilização do iluminador AF.
6 **Programe o flash para (Flash Desligado).**
   Não é possível fotografar com flash utilizando a caixa.

A Instalar câmara digital

Assegure-se sempre de desligar a alimentação da câmara quando for instalar ou remover a câmara digital. A objectiva poderá ficar avariada se deixar a câmara ligada.

1 **Desligue a câmara digital.**
2 **Solte a fivela da caixa ⓧ② e retire a protecção ③.**
3 **Coloque o dessecador fornecido na caixa.**
   Sobre o dessecador
   Para evitar o embaciamento da caixa, coloque o dessecador no interior da caixa uma ou duas horas antes de a utilizar.
   Guarde o dessecador não utilizado no saco original e mantenha o saco bem fechado.
   Secando adequadamente o dessecador, este poderá ser utilizado cerca de 200 vezes.
   Secar o dessecador:
   Guarde o dessecador num local com temperatura entre 20°C e 30°C e humidade inferior a 50%, durante aproximadamente cinco horas, para secá-lo totalmente.
4 **Alinhe a parte saliente da protecção com o encaixe do tripé da câmara digital e, em seguida, introduza a parte saliente no encaixe do tripé até o gancho da ponta engatar na protecção.**
   Inspecione a posição da parte saliente de acordo com a tabela indicada a seguir.

Parte saliente	Câmara digital
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Faça deslizar a protecção de modo a encaixar na ranhura da parte da lente da caixa até emitir um estalido.**
6 **Feche o fecho éclair ① e feche o bloqueio de fivela conforme ilustrado ②③.**
   Feche o fecho éclair com firmeza. Se não o fechar devidamente, poderá provocar infiltrações de água.

B Colocar a correia para o pescoço

Alinhe as extremidades da correia para o pescoço e as partes salientes da fivela e puxe a correia para o pescoço na direcção da seta, até ser emitido um estalido.

C Gravar

1 **Ligue a câmara digital.**
2 **Carregue no botão do obturador da câmara digital.**

Notas
Durante a gravação de filme, o som não é gravado correctamente.

Retirar a câmara digital

1 **Desligue a câmara digital.**
2 **Abra a caixa.**
3 **Retire a câmara digital da caixa.**
   A câmara digital aquece se a utilizar durante muito tempo. Desligue a câmara e espere que arrefeça antes de a retirar da caixa.

Retire a câmara digital com cuidado para não a deixar cair.

Notas
Antes de abrir a caixa, seque bem a caixa e o corpo para não deixar cair pingos de água na câmara digital.

Français

Caractéristiche tecniche

Materiale
Plastica (PC, ABS), vetro

Resistenza all'acqua
Cerniera, fibbia

Profondità di utilizzo
30 cm

Interruttore controllabile
Alimentazione, Otturatore, Zoom (W/T), Riproduzione, Menu, Home, Presentazione, Invio, DISP, Macro, Autoscatto, Flash

Dimensioni
circa 170 × 132 × 65 mm (l/a/p)
(escluso le parti sporgenti)

Peso
circa 95 g (solo custodia)

Accessori inclusi
Custodia impermeabile (1), Tracolla (1), Dispositivo di protezione (1), Sostanza essiccante (due confezioni) (1), Corredo di documentazione stampata

Disegno e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Português

Função Principal

Esta caixa à prova de água (referida a seguir como "caixa") APK-WA só pode ser utilizada com a câmara digital Sony DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110.
A Cyber-shot para esta caixa não está disponível em todos os países/regiões.

Esta caixa é à prova de água, permitindo utilizar a câmara digital com chuva ou na proximidade de água. (Pode ser utilizada a uma profundidade de 30 cm) A caixa também protege a câmara digital do pó.

Nota
- Antes de utilizar a câmara digital na caixa, verifique se a câmara está a funcionar correctamente e se a caixa não apresenta infiltrações.
- Na eventualidade, improvável, de uma avaria na caixa provocar danos devido a infiltrações, a Sony não se responsabiliza pelos danos no equipamento contido na caixa (câmara digital, bateria, etc.), nem no conteúdo gravado nem pelas despesas implicadas na fotografia.

Precauções

- Não sujeite o vidro frontal a choques fortes, pois pode partir-lo.
- Evite abrir a caixa na água ou na sua proximidade. A preparação como, por exemplo, a instalação da câmara digital e a mudança do "Memory Stick Duo", deve ser feita num espaço interior e com humidade baixa.
- Não atire a caixa para dentro de água.
- Evite utilizar a caixa nas seguintes situações:
  – num local muito quente ou húmido.
  – dentro de água quente com uma temperatura superior a 40 °C.
  – em locais com temperaturas inferiores a 0 °C.

  Nestas situações, o equipamento pode ficar danificado devido à condensação de humidade ou a infiltrações.
- Não utilize a caixa por períodos superiores a 30 minutos, de uma vez, a temperaturas superiores a 35 °C.
- Tenha cuidado para não deixar a câmara digital cair quando a retirar ou colocar dentro da caixa.
- Não deixe a caixa exposta à acção directa dos raios solares, num local muito quente e húmido, durante muito tempo. Se tiver que a deixar ao sol, tape-a com uma toalha ou com outra protecção.
  A câmara digital aquece, quando é utilizada dentro da caixa durante um longo período de tempo. Antes de retirar a câmara digital da caixa, deixe a caixa à sombra ou noutro local fresco durante algum tempo para arrefecer.
- Não utilize a caixa a profundidades superiores a 30 cm.

Se sujar a caixa com protector solar, lave-a cuidadosamente com água morna. Se deixar protector solar na caixa, a superfície da caixa pode perder a cor ou danificar-se (por exemplo, rachas na superfície).

Infiltrações
Se deixar entrar água, retire imediatamente a caixa.
Se a câmara digital se molhar, leve-a imediatamente ao agente Sony mais próximo. Os custos de reparação são suportados pelo cliente.

Manutenção

- Depois de gravar num local perto do mar, lave bem a caixa com água doce com os fechos apertados para retirar o sal e a areia e depois seque-a com um pano seco macio.
- Se sujar a caixa com protector solar, lave-a cuidadosamente com água morna.
- Limpe o interior da caixa com um pano macio seco. Não lave o interior da caixa.

Sempre que utilizar a caixa, efectue a manutenção indicada acima. Não a limpe com nenhum tipo de solvente, como álcool, benzina ou diluente, pois pode danificar o acabamento respectivo.

Quando guardar a caixa
Não guarde a caixa num local demasiado frio, húmido ou quente, nem coloque naftalina ou cânfora dentro dela pois pode danificá- la.

Preparar a câmara digital

Instale a câmara digital num compartimento com pouca humidade ou num ambiente semelhante. Se abrir ou fechar a caixa num local quente ou húmido, o vidro frontal pode ficar embaciado.

Para obter mais informações, consulte o manual de instruções fornecido com a câmara digital.
1 **Retire a correia da câmara digital.**
2 **Introduza a bateria e o "Memory Stick Duo."**
   Utilize uma bateria totalmente carregada.
   Certifique-se de que o "Memory Stick Duo" possui espaço suficiente para gravar imagens.
3 **Ligue a câmara digital.**
4 **Coloque o selector de modo na função desejada.**
   Após instalar a câmara digital na caixa, o selector de modo não pode ser utilizado a partir do exterior.
5 **Regule o iluminador AF para "OFF" (Desligado).**
   Esta acção desactiva a utilização do iluminador AF.
6 **Programe o flash para (Flash Desligado).**
   Não é possível fotografar com flash utilizando a caixa.

A Instalar câmara digital

Assegure-se sempre de desligar a alimentação da câmara quando for instalar ou remover a câmara digital. A objectiva poderá ficar avariada se deixar a câmara ligada.

1 **Desligue a câmara digital.**
2 **Solte a fivela da caixa ⓧ② e retire a protecção ③.**
3 **Coloque o dessecador fornecido na caixa.**
   Sobre o dessecador
   Para evitar o embaciamento da caixa, coloque o dessecador no interior da caixa uma ou duas horas antes de a utilizar.
   Guarde o dessecador não utilizado no saco original e mantenha o saco bem fechado.
   Secando adequadamente o dessecador, este poderá ser utilizado cerca de 200 vezes.
   Secar o dessecador:
   Guarde o dessecador num local com temperatura entre 20°C e 30°C e humidade inferior a 50%, durante aproximadamente cinco horas, para secá-lo totalmente.
4 **Alinhe a parte saliente da protecção com o encaixe do tripé da câmara digital e, em seguida, introduza a parte saliente no encaixe do tripé até o gancho da ponta engatar na protecção.**
   Inspecione a posição da parte saliente de acordo com a tabela indicada a seguir.

Parte saliente	Câmara digital
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Faça deslizar a protecção de modo a encaixar na ranhura da parte da lente da caixa até emitir um estalido.**
6 **Feche o fecho éclair ① e feche o bloqueio de fivela conforme ilustrado ②③.**
   Feche o fecho éclair com firmeza. Se não o fechar devidamente, poderá provocar infiltrações de água.

B Colocar a correia para o pescoço

Alinhe as extremidades da correia para o pescoço e as partes salientes da fivela e puxe a correia para o pescoço na direcção da seta, até ser emitido um estalido.

C Gravar

1 **Ligue a câmara digital.**
2 **Carregue no botão do obturador da câmara digital.**

Notas
Durante a gravação de filme, o som não é gravado correctamente.

Retirar a câmara digital

1 **Desligue a câmara digital.**
2 **Abra a caixa.**
3 **Retire a câmara digital da caixa.**
   A câmara digital aquece se a utilizar durante muito tempo. Desligue a câmara e espere que arrefeça antes de a retirar da caixa.

Retire a câmara digital com cuidado para não a deixar cair.

Notas
Antes de abrir a caixa, seque bem a caixa e o corpo para não deixar cair pingos de água na câmara digital.

Русский

Основные особенности

Настоящий водостойкий футляр (далее по тексту: "футляр") APK-WA применяется исключительно для цифровой фотокамеры DSC-W170/W150/W130/W125/W120/W115/W110 фирмы Sony.
Цифровая фотокамера Cyber-shot, подходящая к настоящему футляру, не может приобретаться в некоторых странах/регионах.

Футляр изготовлен в водостойком исполнении, позволяющем использовать цифровую фотокамеру под дождем или близко к воде. (Допускается использовать до глубины 30 см) Футляр защищает цифровую фотокамеру также от пыли.

Примечания
- Перед употреблением цифровой фотокамеры в футляре надо проверить, что цифровая фотокамера работает правильно и надо не протекает в футляр.
- В таком случае, когда какие-либо неисправности футляра вызываются от повреждений из-за протечки воды, фирма Sony не несет никакие ответственности за какие-либо повреждения вложенных в него устройств (цифровой фотокамеры, батарейного блока и т.д.) и записанных данных, а также за расходы, затраченные в ходе фотографирования.

Предосторожности

- Не следует подвергать переднее стекло сильным ударам, чтобы не повредить его.
- Не следует открывать футляр вблизи или над водой. Подготовительные операции, такие как установка цифровой фотокамеры и замена платы памяти "Memory Stick Duo", следует выполнять в помещении пониженной влажности.
- Не допускается сбросить футляр в воду.
- Не допускается использовать футляр в следующих условиях:
  – в местах повышенной температуры или влажности воздуха;
  – в воде температурой свыше 40°C;
  – при температуре воды ниже 0°C.

  В таких условиях может вызываться конденсация влаги или протечка воды внутрь футляра, что приводит к повреждению фотокамеры.
- Футляр с фотокамерой допускается эксплуатировать не более 30 минут подряд при температуре свыше 35°C.
- При установке и снятии цифровой фотокамеры из футляра надо соблюдать осторожность, чтобы не уронить фотокамеру.
- Не следует оставлять футляр длительное время в местах, подвергаемых прямой солнечной радиации в условиях повышенной температуры и влажности окружающего воздуха. В случае надобности оставлять футляр с фотокамерой под прямыми солнечными лучами, необходимо покрыть футляр полотенцем или др. покровным материалом.
- Цифровая фотокамера может перегреваться при ее работе внутри футляра в течение длительного времени. Перед снятием цифровой фотокамеры из футляра рекомендуется оставлять футляр некоторое время в тени или др. прохладном месте, чтобы дать ему охладиться.
- Не допускается использовать футляр на глубине более 30 см под водой.

Если косметическое масло от загара попало на футляр, надо очистить футляр от масла полностью, промывая его в тепловатой воде. Надо помнить, что попавшее на поверхность футляра косметическое масло может привести к выцветанию или повреждению футляра (такому как трещины на его поверхности).

Протечка воды
При обнаружении протечки воды внутрь футляра обязательно надо остановить работу под водой незамедлительно.
При упражнении цифровой фотокамеры рекомендуется консультироваться с ближайшим дилером фирмы Sony. При этом расходы на ремонт фотокамеры должны быть оплачены покупателем.

Уход за футляром

- После использования на морском ветре тщательно промывают футляр с застегнутой защелкой в пресной воде, чтобы очистить его от попавших на него песчинок и соляных кристаллов, и затем вытирают его мягкой сухой ветошью.
- В случае, если масло от загара оставлено на поверхности футляра, обязательно надо промыть начисто в пресной тепловатой воде.
- Внутренняя очистка футляра должна производиться с помощью сухой мягкой ветоши. Не следует промывать водой внутреннюю часть футляра.

Указанные выше операции ухода за футляром рекомендуется выполнять после каждого использования его. Для очистки футляра не следует применять также маслорастворители, как спирт, бензин и разбавитель для хим. чистки, поскольку они могут вызывать повреждения поверхностной отделки футляра.

При хранении футляра
Избежайте хранения футляра в холодном, очень горячем или влажном месте, а также вместе с нафталином или камфорой. Необходимые указания может вызывать повреждения футляра.

Подготовка цифровой фотокамеры

Цифровую фотокамеру в футляре размещайте в сухом помещении, с пониженной влажностью окружающей среды. При открытии или закрытии футляра в помещении с повышенной температурой и влажностью может происходить туманообразование на переднем стекле.

Более подробную информацию вы можете получить в отдельном руководстве к цифровой фотокамере.
1 **Снимите ремешок с цифровой фотокамеры.**
2 **Вставьте батарейный блок и плату памяти "Memory Stick Duo".**
   Обязательно надо применять полностью заряженный батарейный блок.
   Надо убедиться, что на плате памяти "Memory Stick Duo" имеется достаточное место для записи изображений.
3 **Включите питание цифровой фотокамеры.**
4 **Установите переключатель режимов в нужный режим.**
   После вложения цифровой фотокамеры в футляр, переключатель режимов не срабатывает при управлении снаружи футляра.
5 **Установите подсветку AF в положение "OFF".**
   Следом за этим, не срабатывает подсветка AF.
6 **Установите лампу-вспышку в положение (Вспышка выкл.).**
   Съемка с лампой-вспышкой не действительна при работе с футляром.

A Установка цифровой фотокамеры

Следует всегда поставить переключатель питания в выключенное положение при установке или снятии цифровой фотокамеры. Надо помнить, что объектив может повреждаться, если переключатель питания остается включенным.

1 **Выключите питание цифровой фотокамеры.**
2 **Расцепите защелки футляра ⓧ② и удалите протектор ③.**
3 **Вложите прилагаемое высушивающее средство.**
   О высушивающем средстве
   Для предохранения футляра от туманообразования, оставляйте высушивающее средство в футляре в течение одного или двух часов перед съемкой.
   Неиспользуемое высушивающее средство следует хранить в специальном герметизированном мешке.
   Высушивающее средство может использоваться около 200 раз, если оно высушивается достаточно после каждого использования.
   Сушка высушивающего средства:
   Для сушки высушивающего средства полностью следует хранить его в помещении при температуре от 20°C до 30°C и относительной влажности ниже 50% в течение пяти часов.
4 **Совместите выступ протектора с гнездом подключения штатива в цифровой фотокамере, и затем ввести выступ в гнездо подключения штатива до присоединения крючка кончика с протектором.**
   Надо проверить положение выступа, ссылаясь на нижеприведенную таблицу.

Выступ	Цифровая фотокамера
A	DSC-W130/W125/W120/W115/W110
B	DSC-W170/W150

5 **Расположите протектор в канавку объективной части футляра, перемещая его до щелчка.**
6 **Закройте застежку-молнию ① и закройте фиксатор защелки ②③, как показано на рисунке.**
   Обязательно надо застегнить застежку-молнию надежно.
   Ненадежная застегивание может вызывать протечку воды в футляр.

B Присоединение шейного ремешка

Совместите кончики шейного ремешка с выступами защелки и растяните шейный ремешок в направлении стрелки до щелчка.

C Съемка

1 **Включите питание цифровой фотокамеры.**
2 **Нажмите на кнопку затвора цифровой фотокамеры.**

Примечание
При съемке подвижных изображений звуки не записываются правильно.

Снятие цифровой фотокамеры

1 **Выключите питание цифровой фотокамеры.**
2 **Откройте футляр.**
3 **Снимите цифровую фотокамеру из футляра.**
   При длительном использовании цифровой фотокамеры может происходить нагрев фотокамеры. При этом, выключив питание фотокамеры, оставляйте ее в покое несколько времени до ее охлаждения, затем снимите цифровую фотокамеру из футляра.

При снятии цифровой фотокамеры из футляра надо быть осторожны, чтобы не уронить ее на пол.

Примечание
Перед открытием футляра следует тщательно вытирать футляр от попавшей на него влаги, чтобы влага не попала внутрь цифровой фотокамеры.

Технические характеристики

Материалы
Пластик (PC, ABS), стекло

Водонепроницаемое исполнение
Застежка-молния, защелка

Допускаемая глубина воды
30 см

Управляемые переключатели
Питание, Затвор, Трансфокатор (Широкоугольник/Телеобъектив), Воспроизведение, Меню, Исходн, Слайд-шоу, Вход, Дисплей, Макро, Автоспуск, Вспышка

Габариты
Прибл. 170 × 132 × 65 мм (ш/в/г)
(не включая выступающие части)

Масса

Free Manuals Download Website

http://myh66.com

http://usermanuals.us

http://www.somanuals.com

http://www.4manuals.cc

http://www.manual-lib.com

http://www.404manual.com

http://www.luxmanual.com

http://aubethermostatmanual.com

Golf course search by state

http://golfingnear.com

Email search by domain

http://emailbydomain.com

Auto manuals search

http://auto.somanuals.com

TV manuals search

http://tv.somanuals.com